

平成27年度 主題研究 実証実践のまとめ方

平成27年11月27日

1 研究主題

「各教科等におけるICTを活用した「わかる授業」の創造」
～児童同士が「対話」を通して理解を深める学習指導法を探る～

2 研究仮説

各教科等の学習指導において、授業のねらいに即したICTの活用をすれば、児童が思考の場面で対話し、理解を深め「わかる授業」が効果的に実現できるであろう。

3 実践実証の着眼

【着眼1】 各活用場面での期待する効果と活用のポイントを明確にする。

【着眼2】 児童同士の「対話」に重点をおきながら、一人一人の児童の理解をより深める。

【着眼3】 黒板（板書）とICT、それぞれの活用範囲を明確にする。

4 実証実践のまとめ方について

（構成） ※ 指導案は6までそのまま。7. 指導の実際から記述してください。

第○学年 実践記録

1～6まではそのまま。

7. 指導の実際

指導案7. 指導の実際については、授業記録を基に、教師の主な発問・児童の反応・写真を記載してください。

8. 成果と課題

成果としては、児童の変容にどのように働き、有効であったかを記述する。課題については、次の課題など、実践を通して明らかになったことを記述する。

(1) 各活用場面での期待する効果と活用のポイントを明確にすることで「わかる授業」が効果的に実現されたか。

本時におけるICT活用場面で、「わかる授業」にむけてどのような手立てをとり、どのような活動を仕組んでいったか、その結果どのような効果があったかが分かるように具体的に記述する。

(2) 児童同士の「対話」を重点化することで、児童の理解をより深めることで、子どもたちの理解がより深まったか。

主に中心となる活用場面（話し合い・学び合い活動の場面）について、児童相互が伝え合い、学び合う児童主体の授業が成立し、理解を深めることができたかを記述する。

(3) 1時間の授業の内容が分かるように、電子黒板や黒板を効果的に活用できていたか。

1時間の授業の内容が分かるように、電子黒板をどのように活用し、黒板（掲示物）に何を残したのか考え、効果的な活用について記述する。

- ICT活用のポイントに沿った手立てとその効果
- 児童の活動の様子
- 児童の反応や変容の様子（発言内容等）
- 板書の様子
- 写真資料（表題をつける）
- アンケート結果から言えること

※ 書式について

A4、余白（上下、左右 20mm）、12ポイント、40字×40行

MS明朝体（但し、項立てはMSゴシック）

☆ 提出期限：12月25日（金）まで

※ 「実践のまとめ」は印刷してご提出下さい。（稲葉まで）

※ 電子データも集めておきたいので、共有ホルダーにフォルダ（「H27 主題研究」）を作っておきますので、写真と実践のまとめ、自作コンテンツ等を入れて下さい。

指導の実際記載例（昨年度の学校論文を参考にしてください）

学習活動・内容	指導の実際
<p>1 前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>※前時の実験の結果を電子黒板に提示する。</p> <p>※電子黒板で上流、中流、下流をそれぞれ拡大表示しながら確認する。</p>	<p>T：流れる水にはどんな働きがありましたか。</p> <p>C：上流で浸食、上流中流で運搬、下流で堆積</p> <p>T：実際の川は、こんなにもまっすぐ流れてないね。</p> <p>C：曲がっている。</p> <p>T：今日は、流れる水の働きで川の曲がったところの様子がどのように変わるのかを調べよう。</p>
<p>流れる水の働きで、川の曲がっている所の様子はどのように変わるのだろうか</p>	
<p>2 予想を立てる。</p> <p>※電子黒板に実験装置を提示する。</p> <div data-bbox="161 1048 612 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★活用場面① 予想を発表する場面</p> </div> <div data-bbox="161 1182 612 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★活用場面①の方法と効果 電子黒板に土地の変化の予想をマーキングして発表し合い、それぞれの考えを理解する。</p> </div>	<p>T：水を流すと川の曲がっている所の様子はどう変わるだろう。予想を書きましょう。</p> <p>T：予想を電子黒板で発表しましょう。</p> <p>C：上の方が浸食される。</p> <p>C：川には、内側に川原があるので、内側に堆積する。</p> <p>C：外側の方が流れが速いから、外側が浸食されて深くなる。</p> <p>C：自転車で曲がるとき外に飛び出しそうになるから、外が削られる。</p>
<p>3 実験方法を確認する。</p> <p>4 実験をする。</p>	<p>T：水を流して、川の様子の変化や水や土などの流れを調べよう。</p> <p>T：実験前後の様子を比べられるようにするにはどうしたらよいの？</p> <p>C：実験前の写真を撮ったらよい。</p> <p>C：水を流して実験をする。</p>



【電子黒板を活用して前時を想起する】



【電子黒板で自分の予想をマーキングして発表する。】